



水でつなぐ和の文化「打ち水大作戦」

～水でつなぐ“人・自然・文化”～



大阪国道事務所

琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会では、流域圏の関係者や住民団体が連携し、水に触れ水を大切にする心を継ぐために、各地で和の文化である「打ち水大作戦」を行っています。連携した取り組みの一つである「打ち水大作戦」を流域一斉行動として、平成18年度より行っています。

【日時】平成30年8月9日（木）16時～16時30分

【場所】大日駅前バスターミナル付近（国道1号大日交差点付近）

【内容】沿道企業のイオン大日店、レクサス守口店、大阪トヨペット守口店、トヨタカローラ守口店、ネットヨタ大阪守口店、大阪モルレルサービス(株)、守口市役所、淀川河川公園管理センター、大阪国道事務所、整備局の呼びかけに応じ参加を頂いた皆様と近畿地方整備局の総勢約120名



下がりました～！

↑今須環境調整官からの挨拶
←大阪国道事務所 久保所長のかけ声によりスタート！

使用した水は・・・

今回は下水道事務所の高度処理水を使用しました。



打ち水とは・・・

庭先や道路に水をまくことにより、地表の気温を下げ、夏の暑さを和らげようとする江戸時代から継承される日本人の生活の知恵です！打ち水には、雨水や風呂残り湯など一度使った水を使うのがルールです！

